

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	荒井
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3630		
事務事業名		4308 公民館管理事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100602 教育費・社会教育費・公民館費										
	事業	010000 公民館管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
地域公民館を、学習の場、交流の場とするため、施設機能の充実のほか、利便性、安全性を高めるため、施設の維持管理を行う。						市民が生涯学習を通じ、自ら学び挑戦する心を育み、学んだことを地域に活かしていく活動を推進する。公民館の施設・設備機能の充実を図ることにより、市民や各種団体が、より快適で安全な環境で学習や交流を深めることができる。 また、施設の修繕や機器の更新など、適切な施設・設備の維持管理を行い、維持管理費の長期的視点からのコスト削減や利用者の安全と利便性向上を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施した。	使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施した。
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指 標 名	生涯学習センター・地域公民館等の延べ使用者数					
算 式						単位 人
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標	148,000	150,000	153,000	156,000	160,000
	実 績					
指標選定の理由	第6次須坂市総合計画に同じ					
最終年度目標の根拠	2019年度の現状値に対して20%の増を目標					
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		18,688	16,727
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,544	1,908
一般財源		17,144	14,819
人員数 (人)	正規職員	0.7	0.7
	会計年度(フル)	0.6	0.6
	会計年度(パート)	1.5	1.6
人 員 コスト	正規職員	5,042.1	5,042.1
	会計年度(フル)	2,799.6	2,799.6
	会計年度(パート)	3,528.0	3,763.2
	計	11,369.7	11,604.9
市民一人当たりの経費		0.6	0.5
総額		30,057.7	28,331.9

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	8,887	消耗品費791、燃料費504、光熱水費5,850、修繕料1,742
12節 委託費	1,661	清掃業務134、自動扉保守79、電気保安244、樹木伐採1,109、シルバー管理95
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	20	
その他	8,120	報酬776、旅費45、役務費1,587、使用料及び賃借料3,184、原材料46、備品2,481

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	8,805	消耗品費749、燃料費605、光熱水費6,191、修繕料1,260
12節 委託費	771	清掃業務285、自動扉保守80、電気保安269、樹木伐採44、シルバー管理93
14節 工事請負費	850	
18節 負担金補助及び交付金	30	防火管理者講習会受講負担金30
その他	6,271	報酬278、旅費27、役務費1,912、使用料及び賃借料3,929、原材料40、備品76 公課9

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	高い
評価コメント	地域公民館を維持管理するため必要な事業	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評価コメント	地域公民館を維持管理するために有効	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	引き続きコスト削減を進めながら地域公民館を維持管理する	

振り返り（決算年度の取組み課題）

緊急性の低い修繕等は先送りしコスト削減に務めた。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
団体や個人が生涯学習や社会教育を学びたい時に地域の拠点となる身近なコミュニティ施設として維持管理に努める必要がある。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
生涯学習の機会充実のため、引き続き維持管理に努め、利便性向上を図る必要がある。また長期的視点に立ち、コスト削減や利用者の安全と使用者の利便性を検討していく必要がある。。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	島田 明子
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3630		
事務事業名		4309 公民館活動事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100602 教育費・社会教育費・公民館費										
	事業	020000 公民館活動事業										
事業目的						事業概要・効果						
少子高齢化、情報化、国際化など社会環境が急速に変化する中、市民が生涯にわたり生きがいを求め、様々な学習活動、文化活動、ボランティア活動、地域づくり活動等に取り組む意欲に応えるための事業を推進する。						市民が生涯にわたり生きがいを求め、様々な学習活動、文化活動、地域づくり活動等に取り組む意欲に応えるため、成人講座などの各種講座を開催する。また、事業推進にあたっては文化芸術協会、公民分館をはじめとした各種団体と連携を図ることも視野に入れる。 地域づくりを進めるには、住民自らが主体性を持ち活動することが求められる。公民館の講座や事業を通じて市民が得られる達成感や喜びが、市民共創の地域づくりへの力となることが期待できる。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
・各種講座の開催・他課との連携事業等の実施 ・地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり	・各種講座の開催・他課との連携事業等の実施 ・地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指 標 名	生涯学習センター・地域公民館等の延べ使用者数					
算 式						単位 人
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標	148,000	150,000	153,000	156,000	160,000
	実 績					
指標選定の理由	第6次須坂市総合計画に同じ					
最終年度目標の根拠	2025年度の現状値を考慮して					
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		95,164	98,304
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	49	0
一般財源		95,115	98,304
人員数 (人)	正規職員	0.7	0.6
	会計年度(フル)	7.8	8.1
	会計年度(パート)	9.2	10.0
人 員 コスト	正規職員	5,042.1	4,321.8
	会計年度(フル)	36,394.8	37,794.6
	会計年度(パート)	21,638.4	23,520.0
	計	63,075.3	65,636.4
市民一人当たりの経費		3.0	3.1
総額		158,239.3	163,940.4

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,924	講師謝礼1,924
10節 需用費	265	消耗品費227、食糧費38
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	12,349	公運協負担金131、公民分館交付金9,502地域づくり交付金2,700 その他16
その他	80,626	報酬24,327 給料26,162 職員手当等17,673 共済費12,009 その他455

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	2,486	講師謝礼2,480 謝礼6
10節 需用費	260	消耗品220、食糧費40
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	12,596	会議負担金196、公民分館交付金10,000、地域づくり交付金2,400
その他	82,962	報酬24,263 給料26,439 職員手当等18,739 共済費13,028 その他493

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	- 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか - 行政内部の管理運営上必要な事業であるか - 市が主体となり実施すべき事業か - 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか - 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	普通
評価コメント	市民が生きがいを求め、様々な学習活動、文化活動、地域づくり活動等に取り組むことができた。 また、地域のつながりが災害時にも有効に役立つことが期待出来る。	
有効性	- 事業の成果は上がっているか - 目標に対する達成度は十分か - 市民生活上の課題解決に貢献しているか - 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか - 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	過去3年遡り使用者数を見ても、年々増加傾向にあり、市民のニーズを掴んだ多くの講座が地道に開催されていると感じた。	
効率性	- 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか - 効率性向上に努めているか - 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	やや向上
評価コメント	講座の講師について、できるだけ市内講師に依頼することで、謝礼を抑えていきたい。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

コスト削減を常に念頭に置き、市内講師の積極的な活用を行いたい。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
地域に根ざした学習機会の創出と活性化、地域住民が主体的に学びを深め、地域課題解決に繋がる学習機会を共に創出する仕組みを強化していく必要がある。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
市民が生涯にわたり生きがいを求め、様々な学習活動、文化活動、ボランティア活動、地域づくり活動等に取り組む意欲に応えるための事業を引き続き推進必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	荒井
全体計画						経費区分	実施計画事業費		内線		3630	
事務事業名		17217 公民館整備事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100602 教育費・社会教育費・公民館費										
	事業	980000 公民館整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
地域公民館の老朽化に伴う改修等						・公民館の設置は、社会教育法で市町村とされている。 。公民館は、今後も市民との共創や地域づくり等、地域振興の拠点施設として必要であり、維持改修を計画的に行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
事業先送りのため無し	
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		0	0
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		0	0
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		0.0	0.0

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	普通
評価コメント	事業先送りにより実績なし	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評価コメント	事業先送りにより実績なし	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	事業先送りにより実績なし	

振り返り（決算年度の取組み課題）
事業先送りにより実績なし

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
総合評価コメント	
事業先送りにより実績なし。	

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
2次評価コメント	
公民館は、今後も市民との共創や地域づくり等、地域振興の拠点施設として必要であり、長期的視点で維持改修を計画的に行う必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	荒井
全体計画						経費区分	部局長裁量枠			内線	3630	
事務事業名		4316 臥竜山公会堂管理事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
会計		01 一般会計										
科目		100607 教育費・社会教育費・臥竜山公会堂費										
事業		010000 臥竜山公会堂管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理に努めていく。						自然豊かな臥竜公園に位置することから、市民の憩いの場、交流の場として施設充実を図っていく。 老朽化が進行している大規模施設と広範な敷地について適切な維持管理を行う。 抜本的見直し（指定管理の導入による経費縮小）の動向に注視しながら、維持管理に係る業務量を精査し、事業費への反映を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。	
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指 標 名	臥竜山公会堂の延べ利用者数					
算 式						単位 人
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	実 績					
指標選定の理由	2023年度1,513人、2024年度2,919人、2025年度4,800人を参考とした。					
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		4,887	4,731
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	256	372
一般財源		4,631	4,359
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.1
	会計年度(フル)	0.2	0.2
	会計年度(パート)	1.0	1.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	720.3
	会計年度(フル)	933.2	933.2
	会計年度(パート)	2,352.0	2,352.0
	計	3,285.2	4,005.5
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		8,172.2	8,736.5

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	2,075	消耗品費63、燃料費53、光熱水費1,918、修繕料41
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,812	報酬1,825、職員手当524、共済費367、旅費26、役務費12、使用料及び賃借料29、原材料費29

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,863	消耗品費51、燃料費60、光熱水費1,715、修繕費37
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,868	報酬1,810、職員手当553、共済費409、旅費27、役務費10、使用料及び賃借料32、原材料費27

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	普通
評価コメント	利用者の利便性向上と維持管理のため必要。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評価コメント	利用者の利便性向上と維持管理が図られた。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	一層のコスト削減を目指す。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

建物の構造上、セキュリティ面で課題が残る。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
総合評価コメント	
稼働率拡大に向けて、施設の在り方について検討が必要。	

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
2次評価コメント	
老朽化が進行している大規模施設と広範な敷地について適切な維持管理を行う必要がある。維持管理に係る業務量を精査し、事業費への反映を行うとともに、今後施設の在り方の検討を行って行くことが必要。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	荒井
全体計画						経費区分	実施計画事業費			内線	3630	
事務事業名		17685 臥竜山公会堂整備事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100607 教育費・社会教育費・臥竜山公会堂費										
	事業	980000 臥竜山公会堂整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
施設の老朽化に伴う改修等						臥竜山公会堂は、今後も市民が集う施設として維持改修を計画的に行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
事業先送りのため実績なし	
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		0	0
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		0	0
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		0.0	0.0

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	普通
評価コメント	事業先送りにより実績なし	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評価コメント	事業先送りにより実績なし	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	事業先送りにより実績なし	

振り返り（決算年度の取組み課題）

事業先送りのため実績なし

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
総合評価コメント	
事業先送りにより実績なし	

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
2次評価コメント	
維持改修を計画的に行うとともに、老朽化が進行している大規模施設と広範な敷地について、今後の在り方の検討を行って行くことが必要。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	島田 明子
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3630		
事務事業名		4317 生涯学習推進事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100608 教育費・社会教育費・生涯学習推進費										
	事業	010000 生涯学習推進事業										
事業目的						事業概要・効果						
・住民に分かりやすく楽しく学ぶイベントを、民間団体や学校とネットワークをつくり発信する。 ・地域学、地元学で地域の良さを活かす方法を探る。						●地域の優れた人材活用と、住民が楽しく学習できる講座を提供する。 ●須坂の自然・歴史・文化などの良さを地域住民に知っていただき、須坂が好きになる学習機会の提供。 ●地域を見直し、まちづくりにどう活かせるかを考え、行動できる人々をつなげて行く。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携	・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指 標 名	出前講座の延べ受講者数					
算 式	6435					単位 人
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
	実 績					
指標選定の理由	第6次須坂市総合計画に同じ。					
最終年度 目標の根拠	2025年度の受講者を考慮					
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		12,277	7,231
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	26	64
一般財源		12,251	7,167
人員数 (人)	正規職員	3.0	2.1
	会計年度(フル)	0.0	1.7
	会計年度(パート)	2.9	0.0
人 員 コスト	正規職員	21,609.0	15,126.3
	会計年度(フル)	0.0	7,932.2
	会計年度(パート)	6,820.8	0.0
	計	28,429.8	23,058.5
市民一人当たりの経費		0.8	0.6
総額		40,706.8	30,289.5

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,176	講師謝礼306、謝礼330、記念品代540
10節 需用費	809	消耗品費453、食料費16、印刷製本費340
12節 委託費	387	成人式インターネット同時配信369 その他18
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	406	長野県社会教育委員連絡協議会負担金9、北信地区社会教育委員連絡協議会負担金12、自治体パートナー50、婦人会補助金300、長野地域連携35
その他	9,499	報酬 5,548 給料 0 職員手当 1,638 共済費 1,199 その他1,114

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	378	講師謝礼240、謝礼138
10節 需用費	440	消耗品費358、食料費20、印刷製本費62
12節 委託費	33	委託料33
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	309	負担金109、補助金200
その他	6,071	報酬 192 給料 2,734 職員手当1,168 共済費783 その他1,194

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必 要 性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	普通
評 価 コメント	人生設計の年月が延びており、市民が明るく豊かな日常生活を送るためには、心身ともに健康で、常に生きがいを持ち、生涯にわたって学び続ける場を提供することが大切と考え、地道に事業を継続していく必要性を感じる。	
有 効 性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評 価 コメント	学習推進係において時代のニーズに沿った、様々なジャンルの魅力ある新規講座を5件実施することができた。また、戦後80年事業として市民学園公開講演会では、信毎記者や市内在住の満蒙開拓団帰還者2名による貴重な講演会を開催し140名の参加があった。須坂学舎・まなび一号では、地域の優れた人材活用と、市民が楽しく学習できる講座を提供することができた。	
効 率 性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	やや向上
評 価 コメント	講演会では、須坂にゆかりのある市内講師を発掘し、市内のお宝となる歴史や文化における講演会や講座を開催することで、市内をより深く学ぶことを可能とすることに併せ、謝礼を抑えられるといったメリットもあるため、市内講師の活用を積極的に図りたい。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

引き続き魅力ある新規事業の開催に努めたい。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
市民学園など既存の事業に時間を取られてしまい、各地域公民館へ指導ができないので、各地域公民館の主事等へ新規講座等の情報と指導を行っていきたい。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
主体的に学び合い、学びを生かすことができるまちづくりを進めるうえで、市民学園や須坂学舎の取り組みや、まちづくり出前講座の実施などを進めていく必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	荒井
全体計画					経費区分	部局長裁量枠			内線	3630		
事務事業名		15903 生涯学習センター管理事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100609 教育費・社会教育費・生涯学習センター費										
	事業	010000 生涯学習センター管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
学習の場、交流の場づくりとして施設機能の充実、利便性、安全性を高めるため、施設の維持管理を行う。						市民が生涯学習を通じ、自ら学び挑戦する心を育み、学んだことを地域に活かしていく活動を推進する。 生涯学習センターの施設・設備機能の充実を図ることにより、市民や各種団体が、より快適で安全な環境で学習や交流を深めることができる。 施設修繕や備品等の更新など、適切な施設・設備の維持管理を行い、維持管理費の長期的視点からのコスト削減や利用者の安全と利便性向上を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施。	使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施。
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指標名	生涯学習センター・地域公民館等の延べ使用者数					
算式						単位 人
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標	148,000	150,000	153,000	156,000	160,000
	実績					
指標選定の理由	第6次須坂市総合計画に同じ					
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		28,235	26,151
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	724	1,168
一般財源		27,511	24,983
人員数 (人)	正規職員	0.6	0.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1.3	1.7
人 員 コスト	正規職員	4,321.8	3,601.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	3,057.6	3,998.4
	計	7,379.4	7,599.9
市民一人当たりの経費		0.7	0.6
総額		35,614.4	33,750.9

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	5,321	消耗品費762、燃料費265、光熱水費3,860、修繕料434
12節 委託費	2,862	清掃業務312、電話保守63、自動扉保守53、エレベーター保守818、事務機器保守94、電気保安264、シルバー管理1,258
14節 工事請負費	326	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	19,726	報酬9,584、職員手当2,895、共済費1,366、旅費221、役務費536、使用料及び賃借料4,576、備品540、公課8

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	8,805	消耗品費749、燃料費605、光熱水費6,191、修繕料1,260
12節 委託費	771	清掃業務285、自動扉保守80、電気保安269、樹木伐採44、シルバー管理93
14節 工事請負費	850	
18節 負担金補助及び交付金	30	
その他	15,695	会計年度任用職員報酬278、旅費27、役務費1,912、使用料及び賃借料3,929、原材料40、備品76、公課費9

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	普通
評価コメント	市民の学習の場、交流の場として施設機能の充実、施設の維持管理が必要。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評価コメント	設備等は一部老朽化しているがニーズに応えている。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	人員削減のなかでサービス低下を招かないよう工夫している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

施設の維持に必要な事業を行った。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
市民が気軽に利用できる公共施設として施設・設備機能の充実を図ることにより、市民や各種団体が、より快適で安全な環境で学習や交流を深めるために施設維持に努める。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
引き続き市民が気軽に利用できる公共施設として、生涯学習センターの施設修繕や備品等の更新など、適切な施設・設備の維持管理を行うとともに、長期的視点からのコスト削減や利用者の安全と利便性向上についても検討していく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	荒井
全体計画						経費区分	実施計画事業費			内線	3630	
事務事業名		17683 生涯学習センター整備事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100609 教育費・社会教育費・生涯学習センター費										
	事業	980000 生涯学習センター整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
施設の老朽化に伴う改修等						・生涯学習センターは、今後も市民との共創や地域づくり等、地域振興の拠点施設として必要であり、維持改修を計画的に行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
事業先送りのため実績なし	
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		0	0
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		0	0
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		0.0	0.0

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	普通
評価コメント	事業先送りのため実績なし	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評価コメント	事業先送りのため実績なし	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	事業先送りのため実績なし	

振り返り（決算年度の取組み課題）
事業先送りのため実績なし

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）
総合評価コメント	
事業先送りのため実績なし。	

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
2次評価コメント	
生涯学習センターは、今後も市民との共創や地域づくり等、地域振興の拠点施設として必要であり、長期的視点に立ち、維持改修を計画的に行う必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 8 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	荒井
全体計画						経費区分	部局長裁量枠			内線	3630	
事務事業名		4758 旧上高井郡役所管理事業										
所 属		130600 社会共創部・生涯学習推進課										
施 策		04011200 多様な生涯学習の推進										
予 算		会 計		01 一般会計								
科 目		科 目		100611 教育費・社会教育費・旧上高井郡役所費								
事 業		事 業		010000 旧上高井郡役所管理事業								
事業目的						事業概要・効果						
文化財としての保存と、歴史的建造物としての特性を活かしながら、多くの市民の方に親しまれる施設として活用できるように適切な維持管理を行う。						歴史的建造物（市指定有形文化財）である旧上高井郡役所を、市民の交流施設として活用する。 また、文書館が保管収集している古文書の公開、更には蔵の町並みキャンパスの拠点として利用される当施設の維持管理を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 7年度 実績	令和 8年度 予定
施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。	施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。
令和 9年度 予定	令和10年度 予定
令和11年度 予定	令和12年度 予定

指標名	旧上高井郡役所の延べ使用者数					
算式						単位 人
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
	実績					
指標選定の理由	近年値を参考に設定した。 参考 2023年度17,049人、2024年度年16,573人、2025年度 14,360人					
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 7年度 決 算	令和 8年度 予 算
事業費		10,327	2,671
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,281	1,103
一般財源		9,046	1,568
人員数 (人)	正規職員	0.5	0.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	3,601.5	3,601.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	2,352.0	0.0
	計	5,953.5	3,601.5
市民一人当たりの経費		0.3	0.1
総額		16,280.5	6,272.5

(単位：千円)

令和 7年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,837	消耗品費126、燃料費276、光熱水費877、修繕料557
12節 委託費	4,103	樹木伐採業務委託180、日直業務委託3,869、除草等業務委託54
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,387	会計年度任用職員報酬2,430、職員手当等883、共済費588、旅費85、役務費219、使用料及び賃借料183

(単位：千円)

令和 8年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,945	消耗品費173、燃料費230、光熱水費1,157、修繕料385
12節 委託費	295	樹木伐採等業務委託198、除草等業務委託97
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	431	役務費237、使用料及び賃借料194

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	普通
評価コメント	施設を維持しながら利用ニーズに応える必要がある。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評価コメント	利用ニーズに応えるため施設を維持している。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	利用ニーズに応えるため効率的に施設を維持している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

利用ニーズに応えるため効率的に施設を維持した。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
多目的な用途で利用できる施設として、維持管理していく。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
今後も引き続き、文化財としての保存と、歴史的建造物としての特性を活かしながら、多くの市民の方に親しまれる施設として活用できるように適切な維持管理を行って行く必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	